

# 男子は林田選手が3年連続 5度目、女子は大西選手が 5大会連続5度目の優勝!



優勝の林田選手と大西選手

## (一財)福井県剣道連盟創立70周年記念 福井県知事杯第20回福井県剣道選手権大会

令和5年7月17日(月・祝)  
於 福井県立武道館



第 117 号

発行人  
 (一財) 福井県剣道連盟  
 会 長 片 山 外 一  
 事務局  
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18  
 サンライズ二の宮1-B  
 TEL・FAX (0776)28-6616  
 メール fkiikendo@herb.ocn.ne.jp



福井県剣道連盟は「(一財)福井県剣道連盟創立70周年記念 福井県知事杯 第20回福井県剣道選手権大会」を7月17日(月・祝)、福井県立武道館で開催した。県内各地区剣道連盟および団体から選出された代表選手男子34人、女子21人が出場し、男女別トーナメントで競った。

男子の部は林田匡平選手(学剣連)が3年連続5度目、女子の部は大西ななみ選手(学剣連)が5大会連続5度目の優勝を飾った。林田選手は11月3日(金・祝)東京の日本武道館で開催される「第71回全日本剣道選手権大会」へ、大西選手は9月3日(日)奈良県橿原市のジエイテクトアリーナ奈良で開催される「第62回全日本女子剣道選手権大会」への福井県代表選手としてそれぞれ選考された。

試合結果は次の通りです。

### 【男子の部】

優勝 林田 匡平 (学剣連)

※全日本選手権大会出場は4年連続6回目

2 位 山崎 由樹 (県警察)

3 位 内田 駿哉 (県警察)

3 位 田中 大志 (県警察)

### 【女子の部】

優勝 大西 ななみ (学剣連)

※全日本女子選手権大会出場は6年連続9回目

2 位 梅原 陽乃 (越前地区)

3 位 牛嶋 いつか (福井地区)

3 位 石井 心 (福井地区)

**大会講評**

審判長 堀江 範雄

今年も全日本剣道選手権大会（男女）出場の一枚の切符を取得するため「福井県知事杯 第20回福井県剣道選手権大会」が県立武道館で開催されました。今年の大会は新型コロナウイルス感染症の前に近い状況で、久しぶりに有観客で行われ大変盛り上がりのある大会でした。正面の審判長席から見る景色も、観客に人が居ることになぜか懐かしさを感じ、またこれで剣道の魅力を伝えることができる大変嬉しく思いました。

大会の出場選手等の紹介については、県剣道連盟のホームページを見て頂ければお分かりであるのでここでは省略させて頂きますが、昨年より出場選手が増えたことは大変喜ばしいことであります。

開会式では、大会長である片山会長から「新型コロナウイルスが5類になり、剣道もようやくコロナ禍前の状況に戻りつつ大変喜ばしいことであります。皆さんはこれから剣道を益々盛り上げて頂きたいと思っております。本日は剣道の頂点を目指して頑張ってください」と選手を鼓舞する様にご挨拶がありました。更に来賓の猪嶋宏記県文化スポーツ局長様から「過去全国大会において林田選手が準優勝に輝かれたことは大変喜ばし

いことであります。是非今年も本大会では良い成績を残せるよう期待をしています。本日はその本県代表者を決める大会であります。頑張ってください」と激励の言葉がありました。

今回の試合も「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合、審判法」によるものであり、試合前には審判員が再度意思の統一を図るために打ち合わせ会議を行いました。

今回の試合を観ると、全体的に鍔迫り合いの反則が目立ち、その反面鍔迫り合いからの引き技が一本となっていました。選手は審判規則を理解していないところがあるのではないかと感じました。

**【女子】**

今年も連覇を狙う大西ななみ（学剣連）を阻止する者は誰かが注目されたが、結局大西選手を負かす者は現れませんでした。大西選手の強さを改めて感じました。

ベスト4には大西ななみ（学剣連）、牛嶋いつか（福井地区）、石井心（福井地区）、梅原陽乃（越前地区）の教員と大学生が勝ち残り、準決勝戦第1試合は大西選手が足捌き良く牛嶋選手に勝利し、第2試合は梅原選手が鋭いコマを決め石井選手に勝

利してそれぞれ決勝に進出しました。決勝戦は大西選手と梅原選手という3年連続同じカードで師弟対決となりましたが、大西選手が先々の先で主導権を握る試合展開となり、メンの1本勝ちで勝利を掴みました。相手との間合い明るく、貫録勝ちと言っても良いでしょう。敗れはしましたが、梅原選手は打突に鋭さと力強さがあり、昨年より実力を上げたと感じました。次回を期待したいと思います。

**【男子】**

全日本選手権大会で優勝を狙う林田匡平（学剣連）は、まずこの予選会を突破しなければならないという相当なプレッシャーを感じて大会に臨んだと思います。また、他の選手も今年こそは自分が全国大会に出るという意気込みを感じました。しかし蓋を開ければ林田選手の圧勝の結果であったと思います。

ベスト4には林田匡平（学剣連）、内田駿哉（警察）、田中大志（警察）、山崎由樹（警察）と昨年同様、教員と警察官が勝ち残りました。

準決勝第1試合は4月から機動隊の剣道特練員となった若手の内田選手と林田選手の試合となりましたが、格の違いを見せつけた林田選手が2本勝ちにより圧勝しました。第2試

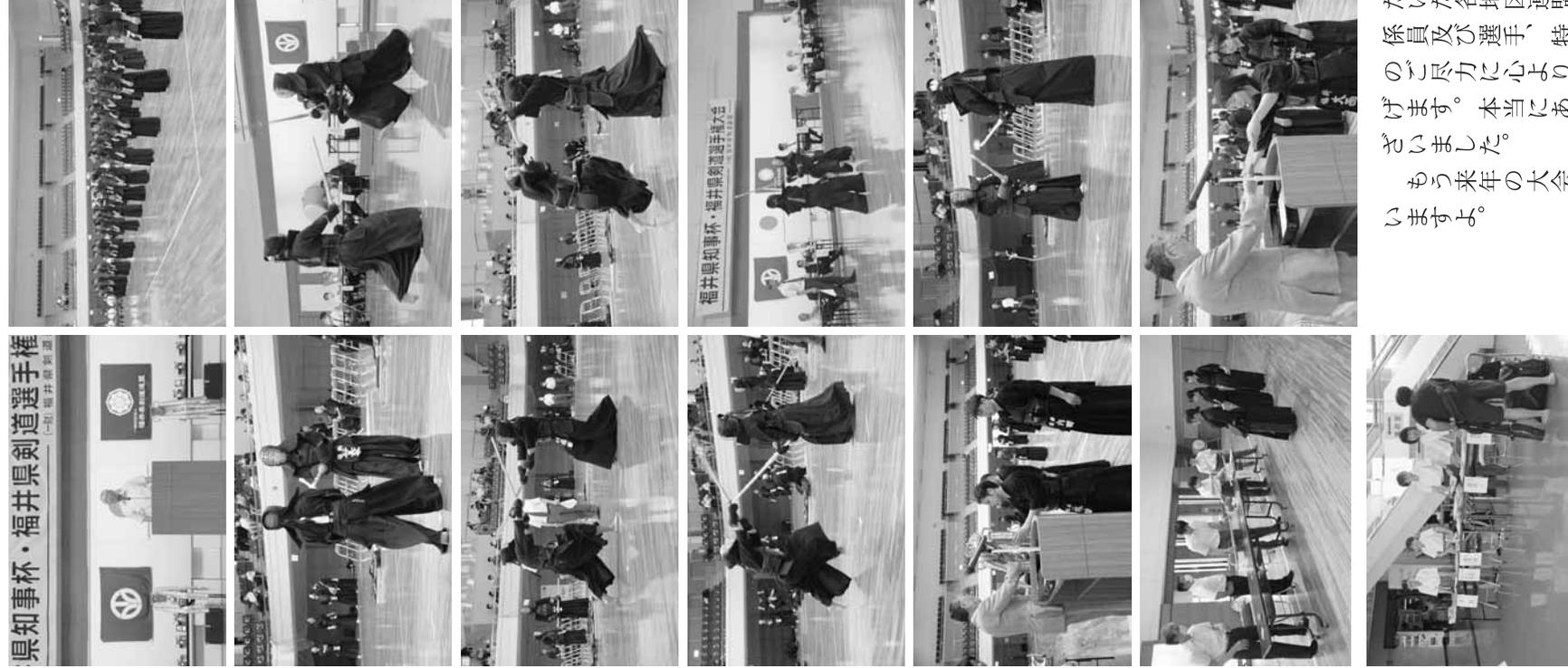
合は同門、警察官同士の山崎選手と田中選手の試合となりましたが、山崎選手が先輩の貫録でコマの1本勝ちで決勝に進みました。

決勝戦は初めての山崎選手と連覇を狙う林田選手となりました。山崎選手は過去林田選手をもつとも苦しめた選手であり、今回はどうなるかと思っていた。試合は最初こそお互い様子を見ながらの試合展開でしたが、山崎選手が打ち余したところを林田選手が素早くメンを打ち1本が決まりました。2本目は開始早々迷うことなく素早くメンを決め連覇、5回目の優勝となりました。林田選手はしり上がりに本領を発揮して技が冴え、全ての試合に2本勝ちを収めました。大会前には全剣連の強化訓練にも参加しており、その影響か、好調さがうかがえました。

**【総括】**

試合を観て、鍔迫り合いからの反則が多かったり、鍔迫り合いからの引き技に旗が上がったりしたことは、審判員が試合・審判規則を勉強してより正しく審判を行ったからであると思います。決して審判が厳しいものではありません。選手また指導者等の方が勝手に理解していたのではないかと思います。もう一度しっかりと勉強して理解し、試合に臨んで頂き

県知事杯・福井県剣道選手権



たいと思います。

また選手の中には試合開始早々受けから入る人が多いと感じました。防御しながら、手元を上げて、受けながら攻めている感がありました。手元が上がりそこから技を出しても一本にはなりません。試合で一本になるのは、最後には真つ直ぐ打突している時です。一番早く打てるのは、剣先が中心にあることです。あと試合は先々の先でないと勝てません。攻めがあるから前に出る、返せるのです。もう一度基本に戻り、稽古す

ることをお勧めします。

今回印象に残った試合で大学生の梅田隼仁（福井地区）が林田選手に打ち込んだメンで、一本ではありませんが気迫があれば一本になる技であり大変惜しいと感じました。それと西川航平（学剣連）の捨てきったメン、初戦で先に一本先取されましたが最後まで諦めず、切れはあまり良くありませんでしたが一足一刀の間合いから豪快にメンに飛び込み一本を決めました。そして勝負となった次も豪快に思い切り同じメンを出

し勝利。捨てきる勇気、この勇気は我々もまた、教え子も見習うべきであると感じました。

閉会式では相模副会長から本年度全日本剣道選手権大会に出場する林田匡平、大西ななみの両選手に対し「全国大会では優勝の二文字しかない。大会まで孤独で苦しいと思うが、しつかり耐えて本番では頑張つてほしい」と熱い激励のお言葉があり幕を閉じました。本当に万全で本大会に臨んで頂き二文字を願っています。健闘をお祈りいたします。

私は、剣道は環境が整っていないから勝てないとは思っていません。自分がどのような環境であろうとも、今やれることは何かを考えて、それを実行することが大切だと思っています。自分で時間をつくり、場所を探し、稽古をお願いすることが大切だと思います。そこに強さが生まれてくると思います。あのコロナ禍の頃と比べてください。ようやく剣道ができることに感謝したいと思います。

最後に、大会の運営にご協力いた

だいた各地区連盟、審判員、係員及び選手、特に事業部員のご尽力に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

もう来年の大会は始まっていますよ。

## 全国大会・ブロック大会 本県勢の活躍！

### 第21回全日本選抜剣道八段 優勝大会

令和5年4月16日(日)  
於 枇杷島スポーツセンター  
(名古屋市)

### 堀江選手、初出場で 堂々ベスト8！

全日本剣道連盟主催「第21回全日本選抜剣道八段優勝大会」が4月16日(日)、名古屋市の枇杷島スポーツセンターで開催され、本県から出場した堀江範雄選手(教士八段、坂井地区)がベスト8に入賞しました。

1回戦は熊本県の栗崎敬一選手と対戦しコテ2本取り勝ち。2回戦は東京都の恩田浩司選手にメンの1本勝ち。3回戦は優勝した北海道の栄花直輝選手と対戦、延長でコテを取られ惜しくも敗れましたが、初出場でベスト8に入賞しました。

### 第21回全日本選抜剣道八段 優勝大会に出場して

教士八段 堀江 範雄

本大会の前身は昭和52年より明治村剣道大会として、明治村「無声堂」で開催されていた剣道八段戦であり、平成14年より表題の大会と改名され、

今年で45回を迎える由緒ある大会です。選手は全国より選抜された(50歳から65歳で八段取得後5年を経過)32名が、全国の剣道愛好家に試合を披露し剣道の真髄を問うと共に、剣道に対する認識を更に深めようとするものです。

今回、正直まさか私が選ばれるなんて思ってもいませんでしたが、本県では相模利朗先生以来約10年振りであることから、大変光栄だと思いました。

私の稽古は週3回の朝稽古と武道学園指導、木曜日の国体強化稽古のみであり、1回の稽古時間も約30分程度です。ですから大会出場が決まってからはその短い稽古時間であっても、勝つという強い信念と覚悟を決めて、集中した中身の濃い稽古を心掛けました。内容はハード面ではずり足による基本打ちの徹底と、一足一刀の間合いからの連続打ち込みの実施、ソフト面では年齢的にも怪我をしないように稽古をやり過ぎない(やりたくてもやらない。疲れによる怪我防止)、新型コロナウイルス感染防止に気を配りました。また大会では頑張ると公言し、緊張感と責任のプレッシャーを自身にかけて臨

みました。更に稽古だけでは自分を追い込むことは出来ないで、「気を頂きに相模先生に稽古をお願いしました。先生からは「打ち急くな！我慢しなさい」と貴重なアドバイスを頂き大変勉強になりました。また、気を練るために川野先生にも大会前日まで稽古をお願いしました。そして不安と緊張を持ちながら大会を迎えました。

大会前日、審判、選手打合せ会議があり、会長からはこの大会は「言言」により全世界に配信され、皆さんの試合が模範となり剣道界を左右するという大変重要な使命がある。よろしく頼む」と言われ、緊張が更に増しました。

大会当日、緊張しながら会場に入り一礼し顔を上げると、観客席の中央最前列に見たことのある顔ぶれ(武道学園の先生方)が目に入り、「あじやくこれは負けられん！」と緊張はマックスに達しました。

試合が始まり、1回戦は熊本県の栗崎敬一先生(元教員)でした。立ち上がり相模先生からの「打ち急くな！我慢」を思い出し、一度打ちに行こうと思いましたが、まだだど行かずに我慢をしました。それから程なく一足一刀まで入り、ひと仕事をしてから勝負をかけて初太刀をコテに打つたところ1本となりました。

1本が決まった瞬間、当たった！なんか会場がうるさいなと思いました。それから2本目のコテも同様な感じになりました。礼をして戻りましたが、「うわく勝った！」と久しぶりの喜びが湧き上がるのを感じました。栗崎先生は私みたいにガチャガチャしないで、どつしり構えて正統派の大変素晴らしい剣道をされる方でした。

2回戦は東京都の恩田浩司先生(元警視庁剣道師範)、過去本大会や色々な全国大会でも優勝されており、全国警察官大会では警視庁で大阪府警等と優勝を争われ、私としては遠い存在であり憧れの先生でした。そんなことですから、緊張よりこのような素晴らしい先生と試合ができることが嬉しくてワクワクして試合に臨みました。

試合は恩田先生からかなりの重圧を受けながら、私も負けじと我慢をしていたところコテが来たので、遅れたと思いましたが返しメンを打つたところ決まりました。後は我を忘れて虎の子1本を死守し終わりました。憧れの先生に勝って嬉しく思いましたが、こんなに体力的、精神的に辛い試合はもうしたくないと思いました。

3回戦は北海道の栄花直輝先生(現北海道警察剣道師範)、言わずと

知れた剣道界スーパースターで、正直延長3回まで戦うなんて思ってもいませんでした。前に出て攻め続けようとしたのですがガードが堅くなかなか打つチャンスもなく、やはり実力の差で相手の攻めに私の手元が上がりコテを打たれてしまいました。最後には根気が負けしてしまったことが敗因であり、勝つためには明日まで試合をやつてやるくらいの強い気持ちが必要であると感じました。しかし、少しはやれる自信はつきました。

試合が終わり、先生方、同僚、後輩からは「良くやった!」と、労いとお褒めの言葉を多く頂きましたが、国体のアドバイザー高橋俊昭範士からは、「手元が浮いていたじゃないか!もつとしっかり稽古しなさい!」と、厳しい言葉と叱咤激励を頂きました。「そつだ、こんなところで喜んで満足している場合ではない。まだまだやらなければならない」と改めて思い、胆に銘じた次第であります。

本大会に出場して本当に良い勉強をさせて頂きました。今後は今回の反省点を活かして更なる高みを目指し、精進して参りたいと思っております。今後とも皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。最後に応援に来て頂いた先生方に感謝申し上げます。

ます。また「動画の二回で見たよ」と声をかけて頂き大変ありがたく思っています。重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 第71回全日本都道府県対抗 剣道優勝大会

令和5年4月29日(土・祝)

於 エデイオンアリーナ大阪

試合結果は次の通りです。

### ▽1回戦

	福井		佐賀
先鋒	笠嶋	1メ	稲富
次鋒	中村	引き分け	小川
五将	富田	1ド	川崎
中堅	林田	コ、メ1	櫻木
三将	小谷	1メ、コ	松石
副将	畑	引き分け	中島
大将	松井	引き分け	川崎

※1対3で負け、1回戦敗退

### 観戦記

## 第71回全日本都道府県対抗 剣道優勝大会を終えて

監督 鈴木 秀典

4月29日(祝)、標記の大会が大阪市のエデイオンアリーナにおいて開催されました。本県選手は昨年度の前回大会(第70回)から7人中6人の選手が入れ替わり、気持ちを新たに大会に臨みました。1回戦

の相手は、来年度(令和6年度)に「国スポ(国体)」を控える佐賀県で、当然強化が進んでおり、激戦になることが容易に察することができました。

先鋒(高校生)は丸岡高校3年の笠嶋選手で、立ち上がりから高校生らしい激しい試合展開が続きました。両者譲りませんでした。試合終盤に鏗り合いから相手選手に引きメンを奪われ1本負けを喫しました。

次鋒(大学生)は明治大学3年の中村選手です。相手選手は中央大学に在籍し、これまで幾度となく試合や稽古を重ね、お互い手の内を知る間柄です。その中でも引きメンを飛び込みメンといった惜しい技を繰り出しましたが、審判には認めてもらえず引き分けとなりました。五将(一般35歳未満)は福井刑務所の富田選手で、相手の川崎選手は元警視庁で国体優勝経験もある実力者です。富田選手は緊迫した攻め合いの中から身体能力を活かした惜しい技を繰り出しますが、相手選手も易々とは打たせてはくれず、中盤、富田選手の放ったメんに「抜き左(逆)ドウ」を合わせられ、1本負けを喫しました。0-2と劣勢になったところで、中堅(教職員)は丸岡高校教員の林田選手が出場しました。試合開始直後から若干引き気味の相手選手に対

して、「そつはさせぬ!」と徐々に攻勢を強め、程なくコテと引きメンを奪い、圧巻の2本勝ちを収めました。三将(警察職員)は県警機動隊の小谷選手が出場しました。開始早々、引きメンを奪われてしまい、その後取り返そうと足を使い前に出ますが、手元の浮いたところにコテを奪われてしまい、2本負けを喫しました。

1-3ともう後がないところで、副将(一般35歳以上)は自営業の畑選手が出場しました。なんとか1本をもぎ取ろうと、素早い動きとともに上へ下へと攻め込みますが相手も試合巧者であり、ことごとく技を潰され、そのまま時間が経過し引き分けに終わりました。この時点で本県予1回の敗戦が決まってしまうましたが、次への新たなスタートに向け、敦賀気比高校教員の大将(50歳以上教士七段以上)松井選手に最後を締めくくっていただきました。試合開始早々、松井選手が大きく間合いを詰め、コテからメンを放ち相手の打突部位を捉えませんが、審判には認められませんでした。その後は大将戦らしい、緊迫した間合いからの攻防が随所に見受けられましたが、お互い決め手はなく引き分けに終わりました。

結果、佐賀県に対して1-3で破れ、2回戦に進むことはできませんでした。選手たちは負けはしたものの

## 福井工大男子、上位独占！

### 第65回北信越 学生剣道選手権大会

令和5年5月14日(日)  
於 松本市総合体育館



の堂々とした戦いぶりを見せてくれ、次に繋がる良いきっかけになったと感じております。しかし、試合内容を振り返ってみると、本県のスーパーアドバイザーである佐藤成明先生や高橋俊昭先生が常におっしゃっている「攻撃は最大の防御である」といった部分に疑問が残る結果となりました。それをしっかりと体现できるように今後稽古に励みたいと思いますので、今後とも機会ある稽古や試合において、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

※男子は10位まで全日本学生選手権大会に出場

#### 【男子の部】

- 優勝 菅藤 尚哉(福井工業大学)
- 準優勝 小浦 一朗(福井工業大学)
- 3位 池田 聖(福井工業大学)
- 4位 堂前 黎昇(福井工業大学)
- 5位 富谷 嵩平(福井工業大学)
- 5位 林 翔琉(福井工業大学)
- 11位 井手 和樹(福井工業大学)

福井県勢の試合結果は次の通りです。

いつか選手が優勝を遂げました。

また女子の部では同大学の牛嶋いつか選手が優勝を遂げました。

堂前黎昇選手、5位に富谷嵩平選手、林翔琉選手と上位入賞を独占しました。

準優勝、3位に池田聖選手、4位に菅藤尚哉選手が昨年に引き続き優勝、同大学からは小浦一朗選手が

「第71回全日本学生剣道選手権大会」と「第57回全日本女子学生剣道選手権大会」への出場権を掛けて競

いました。男子の部では福井工業大学の菅藤尚哉選手が昨年に引き続き優勝、同大学からは小浦一朗選手が

「第57回全日本女子学生剣道選手権大会」が5月14日(日)、長野県の松本市総合体育館で開催され、7月1日(土)～2日(日)日本武道館で開催され

「第65回北信越学生剣道選手権大会」が5月14日(日)、長野県の松本市総合体育館で開催され、7月1日(土)～2日(日)日本武道館で開催され

## 男子は工大菅藤選手が連覇、女子は工大牛嶋選手が優勝！

### ◆第68回西日本学生剣道大会

#### 福井県勢の結果

令和5年5月27日(土)～28日(日)  
於 久留米アリーナ  
(久留米総合スポーツセンター体育館)

### 第68回西日本学生剣道大会 第38回西日本女子学生剣道大会



優勝 牛嶋いつか(福井工業大学)  
※女子は4位まで全日本学生選手権大会に出場

#### 【女子の部】



第61回北信越高等学校剣道大会が6月16日(金)～18日(日)、新潟県上越市の謙信公武道館(新潟県立武道館)で開催され、本県勢では、男子団体で丸岡高校と女子団体で敦賀高校が共に準優勝、個人戦では男子

### 個人男子の部で森陽輝選手、女子の部で森川沙恵選手(共に敦賀高校)が3位入賞！

### 男子団体で丸岡高校、女子団体で敦賀高校が共に準優勝！

令和5年6月16日(金)～18日(日)  
於 謙信公武道館(新潟県立武道館)

### 第61回北信越高等学校剣道大会

※2回戦敗退

福井工業大学 2-2(本教勝ち)  
鹿児島大学

▽2回戦

福井工業大学 4-1 宮崎大学

▽1回戦

### ◆第38回西日本女子学生剣道大会

※2回戦敗退

福井工業大学 2-4 京都産業大学

▽2回戦

福井工業大学 5-1 大分大学

▽1回戦

【男子団体】

▽ 予選リーグ

- 敦賀高校 3勝1敗  
(決勝トーナメント進出)
- 丸岡高校 3勝1敗  
(決勝トーナメント進出)
- 敦賀気比高校 4敗  
(予選リーグ敗退)



個人戦男子3位の森陽輝選手と  
個人戦女子3位の森川沙恵選手

▽ 女子

- 3位 森川 沙恵 (敦賀高校)
- ベスト8 杉本 和香 (敦賀高校)

▽ 男子

- 3位 森 陽輝 (敦賀高校)
- ベスト8 本島 大成  
(福井工大附属福井高校)

【個人戦】

の部で森陽輝選手、女子の部で森川沙恵選手(共に敦賀高校)が3位入賞しました。

本県勢の試合結果は次の通りです。

【女子団体】

▽ 予選リーグ

- 敦賀気比高校 1勝3敗  
(予選リーグ敗退)



男子団体準優勝の丸岡高校

決 勝

- 丸岡 1-1 (代表勝ち)  
龍谷富山 (富山)

- 2位 丸岡高校
- ベスト8 敦賀高校

準決勝

- 丸岡 2 (本数勝ち)-2  
羽咋工業 (石川)

▽ 決勝トーナメント

準々決勝

- 敦賀 1-1 (代表勝ち)  
龍谷富山 (富山)
- 丸岡 2-1 佐久長聖 (長野)

- 北陸高校 2勝1敗1分  
(予選リーグ敗退)

【優秀選手】

- 男子 宮嶋 凜太 (丸岡高校)
- 女子 森川 沙恵 (敦賀高校)



女子団体準優勝の敦賀高校

▽ 決勝トーナメント

準々決勝

- 敦賀 0 (代表勝ち)-0  
五泉 (新潟)

準決勝

- 敦賀 2-1 新潟商業

決 勝

- 敦賀 0-1 金沢
- 2位 敦賀高校

- 啓新高校 3敗1分  
(予選リーグ敗退)

- 北陸高校 1勝3敗  
(予選リーグ敗退)

- 敦賀高校 3勝1敗  
(決勝トーナメント進出)

北信越大会を終えて

丸岡高校剣道部

男子主将 宮嶋 凜太

僕たち丸岡高校剣道部は第61回北信越高等学校剣道大会で準優勝することができました。予選リーグでは、思っような剣道を行うことができず、仲間たちに助けをもらいながらなんとか予選リーグを通過することができました。

決勝トーナメントでは、1試合目から仲間同士で信じ合い、みんなで勝つという意識を強くもって勢いのある試合をすることができました。予選リーグとは違い負けたら終わりという場面の中、「負けたくない」という気持ちではなく、「必ず1本取る」という意識が強く、最後まで攻撃的な剣道が貫くことができました。代表戦では、託してくれたみんなの為に正々堂々と戦う事ができました。結果は負けてしまいましたが、悔いは全くありません。

この優勝できなかつたという悔しい結果を次の代の仲間たちに託します。応援本当にありがとうございました。

敦賀高校剣道部

女子主将 杉本 和香

私たち敦賀高校女子は、今年団体がインターハイに行くことが出来な

かったので、チーム全員での団体戦は北信越が最後の大会でした。メンバーは新1年生も加えた新しいチームで、全員がチャレンジャーの気持ちを持って試合に挑みました。

予選リーグでは2試合目の新潟青陵高校に負けてしまいました。でも「残りの2試合は絶対に勝つ」とチームで気持ちを高め合い最後まで諦めずに試合をして、残りの呉羽高校と北信越新人戦のときには負けてしまった羽咋高校に勝つことができました。そして3日目の決勝トーナメントに進むことが出来ました。

決勝トーナメントでは1回戦から強敵五泉高校との試合でした。でも全員が強気でチームで戦うことができ、代表戦で2年の森川がツキで1本を取って五泉に勝つことができました。ツキを打った時の観客席からの大きな歓声とどよめきは凄く印象に残っています。

決勝戦では大将まで撃くことができましたが、あと一步のところまで負けてしまい準優勝という結果になりました。この悔しさを糧にこれからも日々の稽古に全力で励んでいきます。応援よろしくお願ひします。

### 第71回全日本学生剣道選手権大会・第57回全日本女子学生剣道選手権大会

令和5年7月1日(土)～2日(日)

於 日本武道館  
個人戦の学生日本一を決める「第57回全日本女子学生剣道選手権大会(7月1日)」、「第71回全日本学生剣道選手権大会」(7月2日)が日本武道館で開催され、北信越地区代表として福井工業大学から男子6名、女子1名が出場しました。  
福井県勢の試合結果は次の通りです。

#### ◆第71回全日本学生剣道選手権大会

▽1回戦

- 池田 聖 (福井工大) 1メ 門田 (早大)
- 林 翔琉 (福井工大) メ1ツ、メ 江澤 (駒大)
- 堂前 黎昇 (福井工大) メ1 西 (平成国際大)

▽2回戦

- 富谷 高平 (福井工大) 1メ 田奈橋 (朝日大)
- 堂前 (福井工大) メ1 土本 (岐阜大)
- 小浦 一朗 (福井工大) メ1 佐藤 (仙台大)
- 菅藤 尚哉 (福井工大) メ1 太田 (仙台大)

▽3回戦

- 堂前 (福井工大) 1メ 佐藤 (大体大)
- 小浦 (福井工大) ドーゴ、メ 鈴木 (東海大)
- 菅藤 (福井工大) 1メ 小檜山 (慶大)

- 菅藤 尚哉 (福井工大) 3回戦進出
- 小浦 一朗 (福井工大) 3回戦進出
- 林 翔琉 (福井工大) 1回戦敗退
- 堂前 黎昇 (福井工大) 3回戦進出
- 富谷 高平 (福井工大) 2回戦敗退
- 池田 聖 (福井工大) 1回戦敗退
- ※優勝は鹿屋体育大の木村恵都選手 (初優勝)

#### ◆第70回全日本学生剣道東西対抗試合

- 東軍十六将 小浦 一朗選手 (福井工大)
- 1人目勝ち、2人目負け
- 東軍六将 菅藤 尚哉選手 (福井工大)
- 1人目負け
- ※東軍が優勝

#### ◆第57回全日本女子学生剣道選手権大会

- ▽2回戦
- 牛嶋いつか (福井工大) 1延メ 吉田梨花子 (明治大)
- ※優勝は筑波大の川合芳奈選手 (初優勝)

#### ◆第17回全日本女子学生東西対抗試合

- 東軍三将 牛嶋いつか選手 (福井工大)
- 引き分け
- ※東軍が優勝



牛嶋いつか選手(福井工大)

#### 第15回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

令和5年7月9日(日)

於 日本武道館  
全剣連主催の「第15回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」が7月9日(日)、日本武道館で開催されました。

本県からは2月19日(日)、県立武道館で開催された県選手選考会で選ばれた7人の剣士が出場。1回戦で強豪の愛知県と対戦、2勝2敗ながら本数負けと惜敗しました。

**観戦記**

監督 高嶋 寿美

7月9日(日)、日本武道館で第15回都道府県対抗女子剣道優勝大会



▽1回戦

福井	愛知
森川 沙恵 (敦賀高)	
1メ(1本勝ち)	西岡
牛嶋いつか (福井工大)	
引き分け	大嶋
大西ななみ (敦賀地区)	
メ(1本勝ち)1	早川
田中 更幸 (福井地区)	
1メ、コ	迫
山田 聖子 (越前地区)	
引き分け	飯沼
橋本 一美 (坂井地区)	
メ 引き分け D	高橋
松岡 由佳 (福井地区)	
コ(1本勝ち)1	大参

が開催されました。昨年から選手構成は高校生から50歳代まで非常に幅が広がりました。また選手数も7名になりました。そのため各県の層の厚さを競い合う大会でもあると思

いました。今回の大会だけでなく、遠征に行かせていただいたりすると、たくさん

の女子剣士が集まり、活気に満ち溢れていて、ものすごいパワーを感じます。若い方々はもちろんですが、60歳70歳の方も元気よくお互い声を掛け合っています。そして剣道談議で話が尽きません。あちこちから大きな話し声と笑い声が聞こえます。試合になると真剣モードでさらにパワーアップしています。今年も都道府県大会に行かせていただき、全国の女性剣士の方々とたくさん交流することができ、大変充実した時間過ごすことができました。

大会を通して、福井県のチームが今後益々活躍することができるよう、女性剣士皆さんで声を掛け合いなが



ら、時には楽しく、でも真剣に剣道ができたらと思いましたが。選手



**第2回北信越高齢者武道大会**

令和5年7月17日(月・祝)

於 富山市総合体育館

富山県高齢剣友会主催の「第2回北信越高齢者武道大会」が7月17日(月・祝)、富山市総合体育館で開催され、北信越地区の新潟県、長野県、福井県と開催地の富山県から男女合わせて約120名が参加、本県からは福井県剣道寿康会会員20名が参加しました。団体は福井県剣道寿康会A・B・C・Dの4チームに分かれ、個人戦は年代別に分かれて全員が出場し交流を深めました。

試合結果は次の通りです。

▽団体戦

福井県剣道寿康会A ベスト8



▽個人戦

- 男子寿組 (78歳以上)  
優勝 小西 清光 (三方地区)
- 男子C組 (70歳〜77歳の部)  
3位 吉田 淳夫 (三方地区)

第57回全国道場少年剣道大会

令和5年7月27日(木)  
〜28日(金)  
於 日本武道館

**小学生の部**  
**福井今立道場Aが**  
**第4試合場2位入賞!**  
**中学生の部**  
**福井養正館が**  
**第3試合場2位入賞!**

全日本剣道道場連盟主催(全剣連等後援)の「第57回全国道場少年剣道大会」が7月27日(木、小学生の部)・28日(金、中学生の部)、日本武道館で開催されました。本原からは4月30日(日)敦賀市立体育館で開催された「第36回福井県道場少年剣道大会」で上位入賞した小学生6チーム、中学生5チームが出場し、上位入賞を目指して熱戦を繰り広げました。小学生の部で福井今立道場Aが第4試合場の2位に、中学生の部で福井養正館が第3試合場の2位にそれぞれ入賞し表彰されました。

本県勢の結果は次の通りです。

- 【小学生の部】  
福井今立道場A 第4試合場  
2位  
福井養正館 第7試合場  
3回戦進出



鳥羽スポーツ少年団剣道部



福井今立道場A B

- 福井今立道場B 第16試合場  
3回戦進出
- 木田剣道スポーツ少年団 第2試合場  
2回戦敗退
- 鳥羽スポーツ少年団剣道部 第12試合場  
2回戦敗退
- 敦賀市剣道スポーツ少年団 第10試合場  
2回戦敗退



敦賀市剣道スポーツ少年団



木田剣道スポーツ少年団



福井養正館

【中学生の部】

- 福井養正館 第3試合場  
2位
- 木田剣道スポーツ少年団 第11試合場  
4回戦進出
- 福井今立道場 第13試合場  
4回戦進出
- 鯖江剣道団A 第8試合場  
4回戦進出
- 鯖江剣道団B 第16試合場  
2回戦敗退



木田剣道スポーツ少年団



福井養正館



鯖江剣道団B



鯖江剣道団A



福井今立道場



大会・予選会・稽古会等

第35回全国健康福祉祭  
ねんりんピック剣道交流大会  
福井県予選会

令和5年4月9日(日)

於 福井県立武道館

福井県剣道連盟は本年10月に開催される「第35回全国健康福祉祭えひめ大会 ねんりんピック愛媛のえひめ2023」出場選手の福井県予選会を4月9日(日)、福井県立武道館で行いました。9名が年齢別3部門に分かれて競い、次の方々が10月28日(土)から30日(月)まで、愛媛県松山市で開催される「ねんりんピック剣道交流大会」への出場を決めました。

- 先鋒 酢谷 一司 (福井地区)
- 次鋒 上嶋 啓芳 (敦賀地区)
- 中堅 宮川 保則 (越前地区)
- 副将 小堀 勝広 (三方地区)
- 大将・監督 奥井 俊雄 (敦賀地区)

第22回「お通杯」宮本武蔵顕彰  
女子剣道大会 福井県選考会

令和5年4月9日(日)

於 福井県立武道館

福井県剣道連盟は本年10月に岡山県美作市で開催予定の「第22回宮本武蔵顕彰女子剣道大会「お通杯」」出場選手の福井県選考会を4月9日(日)に福井県立武道館で行い、次の方々が出場することが決まりました。

- 谷田 和奏 (福井地区)
- 谷口 典子 (越前地区)
- 島田奈美江 (福井地区)
- 田中佐代子 (鯖江地区)
- 安原 真紀 (坂井地区)
- 大味香代子 (坂井地区)



男子団体優勝の福井工業大学付属福井高校

### 令和5年度春季高校選手権大会

令和5年4月22日(土)  
於 敦賀市中郷体育館

試合結果は次の通りです。

#### 【男子団体】

- 優勝 福井工業大学付属福井高校
- 2位 北陸高校
- 3位 丸岡高校
- 3位 敦賀高校



### 第36回福井県道場少年剣道大会

令和5年4月30日(日)  
於 敦賀市立体育館

福井県剣道道場連盟主管、福井県剣道連盟など後援の「第36回福井県道場少年剣道大会」が4月30日(日)、敦賀市立体育館で開催されました。団体戦には小学生26チーム、中学生27チーム、個人戦には小学生の部男子30名、女子25名、中学生の部男子30名、女子25名が出場。7月27日(木)、28日(金)日本武道館で開催される「第57回全国道場少年剣道大会」と10月15日(日)埼玉県立武道

#### 【女子団体】

- 優勝 敦賀高校
- 2位 敦賀気比高校
- 3位 啓新高校
- 3位 北陸高校



女子団体優勝の敦賀高校

#### ▽小学生の部

- 優勝 福井養正館A
  - 準優勝 福井今立道場A
  - 3位 木田剣道スポーツ少年団A
  - 3位 福井今立道場B
  - 敢闘賞 敦賀市剣道スポーツ少年団
  - 敢闘賞 鳥羽スポーツ少年団剣道部
- ※以上6チームが「第57回全国道場少年剣道大会」に出場

館で開催される「全国道場少年剣道選手権大会(第47回小中学生男子・第40回小中学生女子)」への出場をかけた熱戦を繰り広げました。試合結果は次の通りです。

#### 【団体戦】



優勝の福井養正館A



3位の福井今立道場B



3位の木田剣道スポーツ少年団A



準優勝の福井今立道場A

▽中学生の部

- 優勝 福井養正館 A
  - 準優勝 福井今立道場 A
  - 3 位 鯖江剣道団 A
  - 3 位 鯖江剣道団 B
  - 敢闘賞 木田剣道スポーツ少年団 A
- ※以上5チームが「第57回全国道場少年剣道大会」に出場



敢闘賞の鳥羽スポーツ少年団剣道部



敢闘賞の敦賀市剣道スポーツ少年団



3位の鯖江剣道団A



準優勝の福井今立道場A



優勝の福井養正館A

【個人戦】  
▽小学生男子の部

- 優勝 元井 汰希 (福井養正館)
- 準優勝 佐々木海緒 (福井今立道場)
- 3 位 脇本 滉大 (新風館 彦根道場)
- 3 位 西谷 零 (福井今立道場)



敢闘賞の木田剣道スポーツ少年団A



3位の鯖江剣道団B

▽中学生男子の部

- 優勝 常田和太郎 (福井養正館)
- 準優勝 元井 颯汰 (福井養正館)
- 3 位 吉田光太郎 (剣誠館)



▽小学生女子の部

- 優勝 岩谷 明依 (福井養正館)
- 準優勝 橋本 晏利 (福井今立道場)
- 3 位 山崎 梨心 (菅原武道館)
- 3 位 木村 江那 (福井今立道場)



※各部門優勝者が「全国道場少年剣道選手権大会(第47回小中学生男子・第40回小中学生女子)」に出場

▽中学生女子の部

- 優勝 森川 瑞紀(福井今立道場)
- 準優勝 藤田ひかり(志土樹道心会)
- 3位 中村 心思(剣誠館)
- 3位 守 彩花(鱈江剣道団)



- 3位 橋本 勝史(福井今立道場)

令和5年度 福井県高等学校  
春季総合体育大会「剣道競技」

令和5年6月2日(金)～4日(日)  
於 福井県立武道館

女子団体で  
敦賀気比高が初優勝!

試合結果は次の通りです。

【男子個人】

- 優勝 森 陽輝(敦賀高校)
- 2位 笠島 洸瑠(丸岡高校)
- ※以上2名は8月3日(木)～6日(日)、北海道帯広市で開催される全国高校総体出場
- 3位 江戸 一誠(美方高校)
- 4位 東海 来夏(丸岡高校)
- 5位 寺川 大城(敦賀高校)
- 5位 山口 範登(丸岡高校)
- 5位 坂元 煌(工大福井高校)
- 5位 本島 大成(工大福井高校)



【女子個人】

- 優勝 森川 沙恵(敦賀高校)
- 2位 杉本 和香(敦賀高校)
- ※以上2名は8月3日(木)～6日(日)、北海道帯広市で開催される全国高校総体出場
- 3位 岸本 歩愛(敦賀高校)
- 4位 北方 結女(敦賀気比高校)
- 5位 橋詰 みゆ(美方高校)
- 5位 佐々木友愛(敦賀気比高校)
- 5位 梅原 輝莉(敦賀高校)
- 5位 江戸 紗耶(敦賀高校)
- ※5位までは6月16日(金)～18日(日)、新潟県上越市の謙信公武道館(新潟県立武道館)で開催される、北信越高校総体に出場



【男子団体】

- 優勝 敦賀高校
- 2位 丸岡高校
- 3位 敦賀気比高校
- 3位 北陸高校
- ※優勝の敦賀高校は、8月3日(木)～6日(日)北海道帯広市で開催される全国高校総体に出場。
- 4位までは6月16日(金)～18日(日)、新潟県上越市の謙信公武道館(新潟県立武道館)で開催される、北信越高校総体に出場



男子団体優勝の敦賀高校

【女子団体】

- 優勝 敦賀気比高校(初優勝)
- 2位 敦賀高校
- 3位 啓新高校
- 3位 北陸高校
- ※敦賀気比高は初優勝で、8月3日(木)～6日(日)、北海道帯広市で開催される全国高校総体に出場

インターハイへの出場が決まった瞬間、おかげさまという気持ちでいっぱいになりました。思い返せば、新人戦では早々に負けて北信越大会の出場権も逃しました。選抜予選では優勝したものの、県内のどのチームも力をつけており、総体はどこが優勝してもおかしくない群雄割拠の状態でした。

ベスト4をかけた藤島戦では2本必要な状態で自分に勝負がまわりましたが、これまでの稽古を信じ、気力をしばって2本取り、代表戦も制す

### 【大会の感想】

敦賀高校 剣道部

男子主将 森 陽輝

出場。4位までは6月16日(金)～18日(日)、新潟県上越市の謙信公武道館(新潟県立武道館)で開催される、北信越高校総体に出場



女子団体優勝の敦賀気比高校

代表戦での1本が決まった瞬間、優勝したという実感はあまり湧きませんでした。整列の時の大きな歓声に包まれたヒンクの応援席。目頭をおさえる先生の姿。そして、相互の礼のあとの再びなる拍手でやと自分達が優勝したのだという実感が湧いてきて、

応援よろしくお願いします。

敦賀気比高校剣道部

女子主将 杉原 歩佳

また、高校に入ってから初めての有観客での県大会ということもあり、緊張はありましたが応援を力に変えて敦賀高校らしい粘り強い試合を最後まで展開することができました。

北海道インターハイでは選抜大会での悔しさを晴らせるように、日々一生懸命に稽古に励んでいきます。

涙がとまりませんでした。今までご指導して下さった先生方、サポートしていただいた保護者さんを北海道に連れて行く恩返しができて良かったです。

先輩方が引退してからの初めての新人戦では優勝することができましたが、その後の大会では2位ばかりで、何度も何度も負けて終わって悔しい思いをしてきました。そのたびに、一からやり直す気持ちで練習してきました。いろいろなところへ遠征に行ったり、たくさん先生方から指導、アドバイスを頂いたりして、経験を積み、自信をつけることができました。

この大会が最後のチャンス。覚悟を決めて試合に挑みました。決勝戦では先鋒次鋒が1本勝ち、中堅副将が1本負け。チームの勝敗は自分にかかり、まわりからの期待もあって、プレッシャーはすごかったけれど、今までの経験と自信と、試合前にまわりから送られた応援に背中を押され、堂々と試合に入ることが出来ました。

この優勝は、ご指導頂いた先生方、支えてくださった保護者の皆さん、そして一緒に稽古を積んできたみんなのおかげです。しっかりと恩返し出来るように、これからも練習に励み、インターハイでは1試合でも多くこのチームで試合できるよう頑張ります。

## 令和5年度全国教職員剣道大会 福井県選手選考会

令和5年6月10日(土)

於 福井県立武道館

6月10日(土)に県立武道館で第65回全国教職員剣道大会の選考会があり選手が決定しました。結果は次の通りです。

- 先鋒 梅田 圭仁 (啓新高校)
- 次鋒 三井 清喜 (森田中学校)
- 中堅 林田 匡平 (丸岡高校)
- 副将 松井 宏文 (敦賀気比高校)
- 大将 小辻 淳二 (三方中学校)

※監督兼任

- 男子個人戦 林田 匡平 (丸岡高校)
- 女子個人戦 大西ななみ (敦賀高校)

大会は令和5年8月10日(木)、島根県松江市総合体育館で開催。

